

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業名		コード	33500	消防団施設強化事業	予算科目	会計	款	項	目	所管課	消防本部	担当班	総務課消防団班
施策体系	基本施策	27		消防・防災力の強化	根拠法令	消防組織法、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律ほか							☒ 主な事業
	施策の展開	58		消防体制(常備・非常備)の充実	戦略事業	248	消防団用通信網・災害用器材の整備(消防団施設強化事業)						☒ 国土強靱化地域計画
	施策の展開				戦略事業								☐ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	火災、風水害及び地震等による災害時に、消防団員が災害活動に安全に従事する為、基準に基づき必要な装備品を整備する。 団員 活動服一式、保安帽、耐切創製手袋は整備済、随時更新していく。 防塵マスク、防塵メガネ、救助用安全靴は今後検討し整備していく。 各部 防火衣一式(各部5セット整備済)、救命胴衣(各部5着整備済)、車載用デジタル無線機等(整備済)、投光器、発電機(共に各部1台整備済)、チェーンソー(各部1台整備済)、随時更新また維持管理していく。	合併前から各市町で整備していた。 合併前の各市町で装備内容がバラバラであったが、合併後装備内容の統一を図るよう整備を進めてきた。	平成25年2月に消防団の充実強化に関する法律が新たに制定され、消防団の装備の基準が改正された。	国は消防団の装備の強化を図るため、交付税を上げた。 旭市消防委員会において、団員の安全確保のため消防団の装備を計画的に進める必要がある、との方針が出された。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算)		単位:千円	単位	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
1.需用費	2,782	活動服、長靴、消防ホース	千円	2,378	2,859	13,089	2,782	3,076
2.備品購入費			千円					
			千円					
			千円					
② 特定財源の内訳(2年度の決算)		単位:千円	事業費計 (A)					
1.国庫支出金			千円	2,378	2,859	13,089	2,782	3,076
2.都道府県支出金	575	消防防災施設強化事業補助金	千円					
3.地方債			千円					
4.その他			千円					
			千円	1,983	2,383	11,009	2,207	2,564

前年度増減理由
 昨年度全消防団員へ新基準活動服の配布を終えたため減額となった。

従事職員数
 常時 1 人
 最大 2 人 × 40 日 = 延べ 80 人

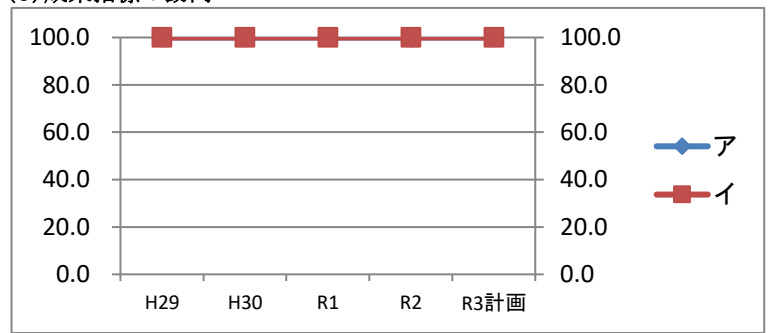
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動		③ 活動指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
手段	2年度実績(2年度に行った主な活動)	車載用デジタル無線機整備台数	台	0	0	0	0	0
	新入団員へ活動服・長靴の配布。 各部へ消防ホースを配布。	携帯用・基地局デジタル無線機整備台数	台					
目的	消防団	救命胴衣整備数	着	0	0	0	0	0
	消防団伝達体制の確立	デジタル無線設置率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
対象意図	消防団	車載用51台、携帯用2台、基地局1台	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	消防団	救命胴衣の充足率(各部5着)	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
意図	水害救助活動時の安全確保							

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	成果優先度評価結果	コスト比率
	かなりある		下位 1/3
大きい		①	中位 1/3
普通	②	②	上位 1/3
小さい		③	
		④⑤	
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況		☐ 完了	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 停滞	☐ 実施困難
評価内容	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	向上	☒ 横ばい ☐ 低下
		成果指標イ		数値増＝成果向上	向上	☒ 横ばい ☐ 低下
	【コメント】 (低下の場合、その理由)					
	③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性		
		令和3年度	各種訓練・災害時に新基準活動服で対応にあたり、消防団活動によって棄損した長靴や消防ホースなどを適宜入替える。	☒ 拡大 ☐ 縮小	☐ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他 ()
		令和3年度	各種訓練・災害時、新基準活動服で対応にあたる。			